

東京食肉市場株式会社

第1 監査の目的

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項に基づき、都が出資等を行っている団体に対して、団体の事業が出資等の目的に沿って適切に運営されているか、監査を実施する。

第2 監査対象の概要

1 事業の概要

(1) 事業の内容

東京食肉市場株式会社（以下「会社」という。）は、都民に対する食肉の安定供給のために、畜産物の集荷・販売機能を果たすとともに、公正な取引と価格形成、流通コストの節減及び食肉流通の効率化を図ることを目的として昭和41年9月に設立され、主に次の事業を行っている。

ア 家畜の荷受け及び販売

イ 枝肉及び部分肉・輸入肉の受託または買付け並びに販売

(2) 都との関係

都は、会社の資本金6億円のうち3億円（50%）を出資している。

2 組織

会社は、事務所を港区港南二丁目7番に置き、役員9名（代表取締役社長1名、専務取締役2名、常務取締役3名、監査役3名）（うち非常勤2名）及び職員103名で、5部をもって構成されている。

第3 監査の範囲及び実地監査期間

1 監査の範囲

平成18年度（第41期）及び平成19年度（第42期）の事業について実施した。

2 実地監査期間

(1) 中央卸売市場 平成20年11月25日及び同年12月3日

(2) 会社 平成20年11月26日から同年12月2日まで

第4 監査の結果

1 経営に関する事項

平成19年度における大動物のうち牛の取扱頭数は、15万338頭で前年度（15万571頭）と比較して233頭減少しており、取扱金額も981億6,286万余円で前年度（990億7,906万余円）と比較して9億1,619万余円減少している。

また、小動物（豚）の取扱頭数は、22万6,095頭で前年度（25万9,159頭）と比較して3万3,064頭減少しており、また、取扱金額も79億5,399万余円で前年度（84億315万余円）と比較して4億4,915万余円減少している。

平成19年度における経営成績は、経常利益6億9,508万余円であり、法人税等を調整した当期純利益は3億5,526万余円である。

平成19年度末における財政状態は、資産合計77億3,305万余円、負債合計27億3,093万余円、純資産合計50億211万余円となっており、前年度と比較して、資産及び負債は減少しており、純資産は増加している。

なお、平成18年度、平成19年度とも、1株当たり75円の配当を行っている。

次に、経営環境について見ると、会社の基本商品である牛・豚の生体は、全国でも生産頭数が伸び悩んでいる状況であり、コスト削減等で収益性を高める努力をしている。

また、事業運営については、仲卸業者及び売買参加者は、一般消費者の需要に応えるために、安定した上場頭数の確保を求めている。

会社は、新規出荷者の開拓や既存出荷者への増頭要請など、集荷対策に取り組んでいるものの、今後も積極的な集荷に取り組む必要がある。

会社の経営状況は、平成19年度も当期純利益を計上しており、出資の目的に沿って適切に経営されているものと認められる。

第5 経営状況の概要

1 経営状況について

(1) 事業実績

会社は、主に牛・豚などの荷受け及び販売並びに、枝肉及び部分肉・輸入肉の買付け・販売などを行っている。

平成18年度及び平成19年度の事業実績は、表1のとおりである。

大動物のうち主要品目である牛肉（生体・枝肉）の平成19年度の取扱量は15万338頭、取扱金額は98億163万286円、前年度（取扱量：15万571頭、取扱金額：99億907万906円）と比較して、取扱量で233頭、取扱金額で9億161万906円ともに減少している。この原因は、全国的にと畜頭数が減少している影響を受けたためである。

小動物（豚）における平成19年度の豚肉（生体・枝肉）の取扱量は22万6,095頭、取扱金額は7億954万399円、前年度（取扱量：25万9,159頭、取扱金額：8億431万506円）と比較して、取扱量で3万3,064頭、取扱金額で4億4,915万399円ともに減少している。この原因は、原油高の影響を受け輸送費が高騰したことなどによるものである。

(表1) 畜種別取扱高比較表

(金額：百万円、増減率：%)

		平成19年度		平成18年度		差 引			
		取扱量	金額	取扱量	金額	取扱量	増減率	金額	増減率
牛	生体・枝肉	150,338 頭	98,163	150,571 頭	99,079	△ 233 頭	△ 0.2	△ 916	△ 0.9
	部分肉	119 t	175	105 t	168	14 t	13.4	7	3.9
	買付副生物	—	553	—	504	—		50	9.9
豚	生体・枝肉	226,095 頭	7,954	259,159 頭	8,403	△ 33,064 頭	△ 12.8	△ 449	△ 5.3
	部分肉	1,217 t	480	1,237 t	456	△ 20 t	△ 1.6	24	5.3
	買付副生物	—	11	—	12	—		△ 1	△ 4.3
輸入	買付牛肉	199 t	242	180 t	249	19 t	10.7	△ 7	△ 2.8
	買付豚肉	630 t	326	1,667 t	762	△ 1,036 t	△ 62.2	△ 436	△ 57.3
その他	（馬・犢） <small>こうし</small>	128 頭	3	75 頭	2	53 頭	70.7	0	22.7
合 計		376,561 頭	107,907	409,805 頭	109,634	△ 33,244 頭	△ 8.1	△ 1,728	△ 1.6
		2,165 t		3,189 t		△ 1,023 t			

(2) 経営成績

ア 損益計算書項目の比較増減分析

平成18年度及び平成19年度の経営成績は、別表1比較損益計算書のとおりである。

平成19年度における経営成績は、営業利益6億3,610万余円、経常利益6億9,508万余円であり、税引後の当期純利益は、3億5,526万余円となっている。

営業収益は、77億2,921万余円であり、前年度(86億6,008万余円)と比較して9億3,087万余円(10.7%)減少している。これは主に、買付品のうち、予約相対販売に係る牛枝肉の取扱数量が減少したことなどにより、売上が8億9,373万余円減少したことによるものである。

営業費用は、70億9,310万余円であり、前年度(79億4,489万余円)と比較して8億5,178万余円(10.7%)減少している。これは主に、買付品のうち、予約相対販売に係る牛枝肉の取扱数量が減少したことなどにより、売上原価が8億8,373万余円減少したことによるものである。

この結果、営業利益は6億3,610万余円となり、前年度(7億1,518万余円)と比較して7,908万余円(11.1%)減少している。

営業外収益は、5,897万余円であり、前年度(1億2,705万余円)と比較して6,807万余円(53.6%)減少している。これは、平成18年度に交付された食肉卸売市場経営改善対策事業に係る補助金7,308万余円が、平成19年度には交付されなかったことによるものである。

この結果、経常利益(6億9,508万余円)から特別損失(2,093万余円)を差し引いた税引前当期純利益は6億7,414万余円となり、法人税等を調整した当期純利益は3億5,526万余円となっている。

なお、平成18年度、平成19年度とも、1株当たり75円の配当を行っている。

イ 経営比率等による経営成績の分析

会社の収益性・効率性を示す経営比率は、表2のとおりである。

平成19年度は、前年度に比較して、営業利益及び営業収益が減少したことなどから、各項目とも低下している。

(表2) 経営比率

項目 \ 年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	算式
経営資本事業利益率(%)	6.5	8.2	12.5	12.8	11.3	$\frac{\text{事業利益}}{\text{経営資本}}$
営業収益営業利益率(%)	5.3	5.8	8.4	8.3	8.2	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
経営資本回転率(回)	1.2	1.4	1.5	1.5	1.3	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$
総費用対総収益比率(%)	95.3	93.5	94.1	90.4	91.1	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$

(注1) 事業利益とは、営業利益+受取利息+受取配当金である。

(注2) 経営資本とは、総資本-投資等である。

(3) 財政状態

ア 貸借対照表の主要項目の比較増減分析

平成18年度末及び平成19年度末の財政状態は、別表2比較貸借対照表のとおりである。

平成19年度末における財政状態は、資産合計77億3,305万余円、負債合計27億3,093万余円及び純資産合計50億211万余円となっている。

資産合計は、前年度(77億5,603万余円)と比較して、2,298万余円(0.3%)減少している。これは、流動資産が1億1,192万余円増加したものの、固定資産が1億3,491万余円減少したことによるものである。

流動資産の増加は、主に、預金が5億5,963万余円増加したことによるものである。

これをキャッシュフローで見ると、営業活動により9億9,228万余円の資金を獲得したものの、施設整備等の投資活動に4,265万余円、財務活動に3億9,000万円、それぞれ使用している。

固定資産の減少は、主に、貸倒引当金が4,254万余円増加したことによるものである。

負債合計は27億3,093万余円で、前年度(30億1,918万余円)と比較して、2億8,824万余円(9.5%)減少している。これは、流動負債が2億5,327万余円(10.1%)、固定負債が3,497万余円(6.8%)減少したことによるものである。

流動負債の減少は、主に、短期借入金が3億円減少したことによるものである。

固定負債の減少は、主に退職給付引当金が4,457万余円減少したことによるものである。

純資産合計は50億211万余円で、前年度(47億3,685万余円)と比較して、2億6,526万余円(5.6%)増加している。これは、繰越利益剰余金が9,473万余円減少したものの、別途積立金が3億6,000万円増加したことによるものである。

イ 財務比率等による財政状態の分析

会社の財政状態を示す財務比率は、表3のとおりである。

(表3) 財務比率

(単位：%)

項目	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	算式
流動比率		164.2	155.4	205.1	224.4	254.7	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
自己資本比率		45.4	46.8	58.5	61.1	64.7	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
固定長期適合比率		41.9	50.6	44.2	40.7	36.6	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}}$

(注) 長期資本とは、資本合計+固定負債である。

(4) 経営環境に関する評価及び財務事務に関する内部統制

ア 経営環境に関する評価

事業の経営環境について、経営者にヒアリングを行うとともに、営業活動、財務活動等の観点から確認を行った結果、事業の経営環境及び事業運営において、次のとおり、留意すべき点が見受けられた。

(ア) 事業の経営環境

牛については、全国において繁殖農家の廃業が進んでいることなどにより、生産頭数が伸び悩んでおり、東京への供給量が減少している。

豚については、産地で消費する、いわゆる「地産地消」の推進や運送費の節減等により、東京への供給が大きく減少している。

このように、会社の基本商品である牛・豚の生体の供給量が減少傾向にあり、見通しは厳しいものとなっているが、コスト削減等で収益性を高める努力をしている。

(イ) 事業運営

会社の事業運営は、安定的集荷及び品揃えを基本方針としているが、出荷者は、相場を見ながら出荷する傾向が強まる一方、仲卸業者及び売買参加者は、一般消費者の需要に応えるために、安定した上場頭数の確保を会社へ求めている。

会社は、新規出荷者の開拓や既存出荷者への増頭要請など、集荷対策に取り組んでおり、今後も積極的な集荷に取り組む必要がある。

イ 財務事務に関する内部統制

財務事務に関する内部統制の整備及び運用状況について検証したところ、財務事務に係る基本的な規程である経理会計規程は適切に整備されており、経理会計規程に定められている会計方針に基づき、処理されている。

(ア) 職務の分掌

経理に関する部・課の分掌事務は、組織規程に定められている。

(イ) 帳簿組織

経理会計規程に基づき、伝票・総勘定元帳等の諸帳簿を作成している。これらの帳票類の回付経路は、職務権限表に基づいたものとなっている。

(ウ) 現金及び預金の取扱

① 小口現金

経理会計規程に基づき、総務部長に対し現金10万円を限度に、仮払金として支出している。

② 現金及び預金の残高照合

経理会計規程に基づき、終業時に手持現金の残高と関係諸帳簿の照合を行っている。

(別表1) 比較損益計算書

(単位：円、%)

科 目	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	増(△)減	
			金額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
営 業 収 益	7,729,210,515	8,660,083,377	△ 930,872,862	△ 10.7
受託販売手数料	3,639,436,871	3,668,616,385	△ 29,179,514	△ 0.8
売 上	3,917,821,254	4,811,558,192	△ 893,736,938	△ 18.6
その他営業収入	171,952,390	179,908,800	△ 7,956,410	△ 4.4
営 業 費 用	7,093,107,642	7,944,896,881	△ 851,789,239	△ 10.7
売 上 原 価	3,936,919,010	4,820,652,552	△ 883,733,542	△ 18.3
販売費及び一般管理費	3,156,188,632	3,124,244,329	31,944,303	1.0
営 業 利 益	636,102,873	715,186,496	△ 79,083,623	△ 11.1
営 業 外 収 益	58,977,692	127,055,317	△ 68,077,625	△ 53.6
受取利息・配当金	30,330,790	27,779,856	2,550,934	9.2
雑 収 入	28,646,902	26,189,461	2,457,441	9.4
補助金収入	0	73,086,000	△ 73,086,000	△ 100
経 常 利 益	695,080,565	842,241,813	△ 147,161,248	△ 17.5
特 別 利 益	0	750,000	△ 750,000	△ 100
貸倒引当金差額戻入	0	750,000	△ 750,000	△ 100
特 別 損 失	20,931,200	81,794,906	△ 60,863,706	△ 74.4
固定資産除却損	14,931,200	8,708,906	6,222,294	71.4
ゴルフ会員権評価損	6,000,000	0	6,000,000	—
固定資産圧縮損	0	73,086,000	△ 73,086,000	△ 100
税引前当期純利益	674,149,365	761,196,907	△ 87,047,542	△ 11.4
法人税・住民税及び事業税	283,136,004	306,952,449	△ 23,816,445	△ 7.8
法人税等調整額	35,748,226	19,442,799	16,305,427	83.9
当 期 純 利 益	355,265,135	434,801,659	△ 79,536,524	△ 18.3

(別表2) 比較貸借対照表

(単位：円、%)

科 目	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	増(△)減	
			金額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
流 動 資 産	5,727,275,381	5,615,349,870	111,925,511	2.0
預 金	3,993,090,054	3,433,458,698	559,631,356	16.3
売 掛 金	1,636,617,093	2,017,753,706	△ 381,136,613	△ 18.9
商 品	19,969,188	21,924,753	△ 1,955,565	△ 8.9
従業員短期貸付金	2,879,117	3,746,707	△ 867,590	△ 23.2
未 収 入 金	20,091,080	90,439,358	△ 70,348,278	△ 77.8
立 替 金	4,902,520	9,954,480	△ 5,051,960	△ 50.8
前 払 費 用	9,247,094	0	9,247,094	—
繰 延 税 金 資 産	40,524,149	39,593,168	930,981	2.4
そ の 他 流 動 資 産	1,579,086	549,000	1,030,086	187.6
貸 倒 引 当 金	△ 1,624,000	△ 2,070,000	446,000	△ 21.5
固 定 資 産	2,005,777,220	2,140,687,515	△ 134,910,295	△ 6.3
有 形 固 定 資 産	170,042,555	182,364,174	△ 12,321,619	△ 6.8
建 物	0	13,065,740	△ 13,065,740	△ 100
建 物 付 属 設 備	26,941,493	30,511,148	△ 3,569,655	△ 11.7
構 築 物	4,951,464	5,710,657	△ 759,193	△ 13.3
機 械 装 置	41,857,476	49,808,258	△ 7,950,782	△ 16.0
車 両 運 搬 具	3,757,113	3,508,970	248,143	7.1
器 具 備 品	48,234,833	59,859,225	△ 11,624,392	△ 19.4
土 地	19,900,176	19,900,176	0	0
建 設 仮 勘 定	24,400,000	0	24,400,000	—
無 形 固 定 資 産	19,976,142	25,136,322	△ 5,160,180	△ 20.5
電 話 加 入 権	1,656,200	1,656,200	0	0
ソ フ ト ウ ェ ア	18,319,942	23,480,122	△ 5,160,180	△ 22.0
投 資 等	1,815,758,523	1,933,187,019	△ 117,428,496	△ 6.1
投 資 有 価 証 券	1,212,550,000	1,212,550,000	0	0
出 資 金	5,050,000	5,050,000	0	0
開 設 者 差 入 有 価 証 券	11,995,800	11,995,800	0	0
従 業 員 長 期 貸 付 金	8,727,787	12,471,010	△ 3,743,223	△ 30.0
長 期 前 払 費 用	279,145,142	307,603,208	△ 28,458,066	△ 9.3
繰 延 税 金 資 産	279,464,794	316,144,001	△ 36,679,207	△ 11.6
そ の 他 の 投 資 等	64,693,000	70,693,000	△ 6,000,000	△ 8.5
貸 倒 引 当 金	△ 45,868,000	△ 3,320,000	△ 42,548,000	—
資 産 合 計	7,733,052,601	7,756,037,385	△ 22,984,784	△ 0.3

(注) 有形固定資産の減価償却累計額は、平成19年度 340,163,023円、平成18年度 370,622,035円である。

(別表2) 比較貸借対照表

(単位：円、%)

科 目	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	増(△)減	
			金額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
流 動 負 債	2,248,815,565	2,502,091,884	△ 253,276,319	△ 10.1
受託販売未払金	339,320,074	292,345,435	46,974,639	16.1
買掛金	6,161,593	10,160,305	△ 3,998,712	△ 39.4
短期借入金	1,500,000,000	1,800,000,000	△ 300,000,000	△ 16.7
未払金	101,299,492	89,387,290	11,912,202	13.3
未払法人税等	131,531,900	152,395,100	△ 20,863,200	△ 13.7
未払消費税	17,868,600	10,243,100	7,625,500	74.4
未払費用	17,495,113	20,712,425	△ 3,217,312	△ 15.5
預り金	44,823,385	46,195,462	△ 1,372,077	△ 3.0
前受金	4,077,408	2,024,767	2,052,641	101.4
賞与引当金	67,535,000	63,400,000	4,135,000	6.5
役員賞与引当金	18,703,000	15,228,000	3,475,000	22.8
固 定 負 債	482,117,800	517,091,400	△ 34,973,600	△ 6.8
退職給付引当金	353,806,000	398,384,000	△ 44,578,000	△ 11.2
役員退職慰労引当金	128,311,800	118,707,400	9,604,400	8.1
負 債 合 計	2,730,933,365	3,019,183,284	△ 288,249,919	△ 9.5
資 本 金	600,000,000	600,000,000	0	0
利 益 剰 余 金	4,402,119,236	4,136,854,101	265,265,135	6.4
利益準備金	150,000,000	150,000,000	0	0
その他利益剰余金	4,252,119,236	3,986,854,101	265,265,135	6.7
別途積立金	3,500,000,000	3,140,000,000	360,000,000	11.5
市場設備改良積立金	355,000,000	355,000,000	0	0
繰越利益剰余金	397,119,236	491,854,101	△ 94,734,865	△ 19.3
純 資 産 合 計	5,002,119,236	4,736,854,101	265,265,135	5.6
負 債 ・ 純 資 産 合 計	7,733,052,601	7,756,037,385	△ 22,984,784	△ 0.3

(別表3) 株主資本等変動計算書

(単位：円)

	株主資本										純資産合計
	資本金	利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計	株主資本合計			
			別途積立金	その他利益剰余金		繰越利益剰余金					
				市場設備改良積立金	市場設備改良積立金						
前期末残高	600,000,000	150,000,000	3,140,000,000	355,000,000	491,854,101	4,136,854,101	4,736,854,101			4,736,854,101	
当期変動額						0	0			0	
剰余金の配当					△ 90,000,000	△ 90,000,000	△ 90,000,000	△ 90,000,000		△ 90,000,000	
積立金の積立			360,000,000		△ 360,000,000	0	0	0		0	
積立金の取崩										0	
当期純利益					355,265,135	355,265,135	355,265,135	355,265,135		355,265,135	
当期変動額合計	0	0	360,000,000	0	△ 94,734,865	265,265,135	265,265,135	265,265,135		265,265,135	
当期末残高	600,000,000	150,000,000	3,500,000,000	355,000,000	397,119,236	4,402,119,236	5,002,119,236	5,002,119,236		5,002,119,236	